記 者 発 表 資 料

平成２８年　２月　５日
宮城県道路メンテナンス会議

「道路施設の老朽化対策」パネル展の開催
～　計画的かつ効率的な道路管理の実現に向けて　～

高度経済成長期に集中的に整備された多くの橋梁やトンネルなどの道路インフラの老朽化の進行に伴い、これらの補修や更新を行う必要性が高まっています。

このため、道路インフラの補修や更新をいかに的確に実施していくかが重要な課題となっており、平成２６年６月１０日に、国、県、市町村、高速道路会社からなる「宮城県道路メンテナンス会議」（会長：仙台河川国道事務所長）を発足し、道路施設の老朽化対策に取り組んでいます。

今回、その広報活動として、**道路施設の現状や課題等を広く皆様にご理解いただくことを目的に、宮城県庁内でパネル展を開催**します。

平成 26 年 4 月 14 日、社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会は、『最後の警告』として、一刻も早い本格的なメンテナンス体制の構築を求める提言を、国土交通大臣へ手交しました。

わが国の道路施設の多くは、戦後本格的な整備が始まり、高度経済成長期に多くの橋やトンネルなどが建設されてきました。

今後、これらの施設は、急速に高齢化が進行し、計画的に修繕を行わなければ、将来大きな負担が生じることとなります。

このため、必要なインフラ機能を維持・向上させ、国民生活への影響を最小化するには、計画的かつ効率的な道路管理を実施する必要があります。

◆開催場所及び開催時期
宮城県庁１階西側ロビー　平成２８年２月８日（月）～ ２月１２日（金）

◆展示パネルの主な内容
- 道路施設の老朽化の現状（東北管内の事例）
- 橋の重大損傷事例（東北管内の事例）
- 長寿命化計画
- 新技術の活用
- 地方公共団体への支援

◆主催：宮城県道路メンテナンス会議
構成員：国土交通省仙台河川国道事務所、宮城県、宮城県３５市町村
宮城県道路公社、東日本高速道路（株）東北支社

発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

〈問い合わせ先〉
宮城県道路メンテナンス会議事務局
宮城県　土木部　道路課
技術副参事兼技術補佐（総括担当）
狩野（かりの）　淳一（じゅんいち）　TEL 022-211-3160（直通）
国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所
事業対策官　佐々木（ささき）　章夫（あきお）　TEL 022-248-4137（直通）